



SSKW

moderato

社会福祉法人藤沢育成会

【モデラート：中くらいの速さで（音楽用語）】

Vol.95



- 「あっと！」表紙解説 … P2
- 「輪」またの保育園 … P2
- 「結」株式会社 Fruitful sun vesta … P3
- イチオン商品です！ … P2 - P3
- トピックス!! … P4
- 後援会いずみ … P4

輪

5

藤沢育成会とつながりのある団体にスポットを当てる「輪」。今回は、湘南だいち児童発達支援センターぶれっじと交流保育*をしているまたの保育園です。またの保育園 鈴木みさを園長にお話を伺いました。

※【交流保育】とは：障がいの有無にかかわらず、さまざまな人たちとの交流を通して、子どもの心や知能の発達を促す保育方法。

「いろいろなお友達がいる、いろいろな考え、感じ方があることを知ってほしいです」



またの保育園
鈴木みさを 園長

自己紹介をお願いします。

またの保育園園長の鈴木みさをです。2022年4月に浜見保育園から異動してきました。2008年から5年間保育士として、またの保育園に勤務していました。自然が豊かで虫にも触れあえる環境の中、元気な子どもたちと楽しく過ごしています。

交流保育を通して、子どもたちにどのようなことを感じてもらえたら良いと考えていますか？

またの保育園は90名定員の比較的小さな保育園です。保育園の中だけではなく、いろいろなお友達がい



て、いろいろな考え、感じ方があることを知ってほしいです。そこから思いやりの気持ちが育まれていくことを願っています。

交流保育で印象に残った出来事は何でしょうか？

交流保育をしているぶれっじのお友達が保育園に来ることをとても楽しみにしていて、交流保育が中止になった時は泣いてしまったと聞き、嬉しくなりました。また、園児とぶれっじのお友達がとても自然に遊んでいるのを見て、先生も驚かされていたようです。

交流保育をする前と後で子どもたちの様子を見て先生方はどのように感じられましたか？

交流保育をしているお友達の名前を呼び掛けたり、少しずつですが親睦を深めている途中のような気がします。

読者に向けて何か伝えたいことはありますか？

藤沢の同じ地域に育つ子どもたちが、のびのびとお互いに成長しあっていけるよう、温かく見守っていただけたらと思います。

結

5

藤沢育成会の活動に賛同・協力いただいている方を紹介する「結」。今回の「結」は、湘南ジョイフルの農作業支援に尽力いただいている(株) Fruitful sun vesta 井上雅昭 代表取締役をご紹介します。



井上さんの自己紹介と藤沢育成会との関りについて

株式会社 Fruitful sun vesta 代表の井上雅昭です。「ふるうつらんど井上」で湘南ジョイフルの農作業の支援をしています。会社を設立したときに「この地元で持続可能な農業を展開するために必要なこと」として二つの柱を考えました。一つ目の柱は「健全な土づくりから安全でおいしい作物を育成すること」、二つ目の柱は「農業に携わるこれからの人たちの人材育成と地域社会との共生」です。地域に暮らす多種多様な人たちとつながることは従業員の育成になると考え、その一つとして障がい者受け入れを検討し始めたことがきっかけで、藤沢育成会との関りが生まれました。

活動を行ってきて、思うことは何ですか？

安全でおいしい果物や野菜を育てるためには、健全な土づくりが欠かせません。農業は経験や知識を積み重ね、そのノ

株式会社 Fruitful sun vesta
井上雅昭 代表取締役



ウハウの蓄積が大変重要なのです。これは人を育てることにもつながると思っています。農業は自然と触れ合い、作物の成長を感じ、季節を肌で感じる。そのような環境の中で過ごすことで心を豊かにするのだと思います。

今後の展望をお聞かせください

農福連携にはいろいろな人たちの協力が必要不可欠です。知恵をしばり、アイデアを出し合うことで、一歩ずつでも進めていくことができるはずで

私たち福祉事業者は農業の専門家ではありません。井上さんのような「農業」と「障がい者福祉」双方の知見を持った方にご支援いただけることは、大変貴重で本当に感謝しています。



川澄さんのアドバイスをもとに「大豆の収穫」を行いました



利用者の皆さんは自ら選んだ農作業を始めていきます

緑豊かな藤沢市長後の住宅街に、果物を多く育てる農園『ふるうつらんど井上』があります。小雨が降る日の取材でしたが、ビニルハウスの中は暖かく、利用者の皆さんは自ら選んだ「草むしり」や、「ペーパリーフの摘み取り」を始めていきます。

しばらくすると『ふるうつらんど井上』の川澄祥子さんが「今日は大豆の収穫をしましょう」と声をかけてくれました。乾燥した大豆の株が吊るされて、下にはビニルシートが敷いてあります。吊るされた株を手で振ると大豆がシートの上に落ちていきました。ここで川澄さんから「落ちた大豆を踏まないでくださいね」と一言アドバイス。利用者の皆さんは楽しそうに、そして大豆を踏まないように慎重に収穫していました。

暖かく、静かなビニルハウスの中で、利用者さん、職員の皆さんの笑い声が聞こえ、ゆったりとした時間が流れた冬の日でした。

「あっと！」

日常の中で見つけたアート



KATAMARI(塊)

表紙解説



和田さん

湘南あおぞらの和田恵子さんが、軽作業の「アルミ作業」で作った作品です。アルミテープを1枚1枚重ねて一つの「塊」を作っていきます。この作品は直径20～30センチ程あり、数年かけて作成した「塊」です。「切り株」や「椅子」にも見えませんが。

湘南ジョイフルにロッカー型自動販売機を設置しました!

イチオシ商品です!

長後駅東口から徒歩3分にある「湘南ジョイフル」にロッカー型の自動販売機を設置しました。現在は、「ふるうつらんど井上」の採れたて野菜の他に、村岡にある洋菓子店「シュテルン」のスイーツ、みらい社「あうにーる」のサブレが販売されています。自動販売機が設置されたのは2022年10月。「地域にお住いの人たちに美味しい野菜を届けたい。」「地域の人たちに喜ばれるものは何だろう。」「利用者さんのやりがいにつながるものは何だろう。」と湘南ジョイフルが開設した当初から試行錯誤し、建物オーナーでもある「ふるうつらんど井上」の井上さんからのご助言や後援会いずみの方々のご協力で、設置することができました。近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



お問合せ：湘南ジョイフル
電話 0466-47-6108



プリズム10周年「今までとこれから」

2011年4月に開所した放課後等デイサービス・プリズムが10周年を迎えました。

Q. 設立当時の様子は？

設立当時担当
(現湘南ゆうき村) 大久保 職員

A. 当時藤沢市に中高生向け放課後等デイサービスはとても少なく、1年間で7名から40名へと登録者が増えました。「一つの場面で一つの活動」を目標に、1日の流れを分かりやすく伝えることを意識していました。コミュニケーションはタイミングが大事。スタッフは様々な絵カードを携帯し、タイミングよく本人に伝えられるようにしていました。

Q. これから果たす役割や目標は？

現担当 上村 職員

A. プリズムでは、学校とは異なる小さな集団だからこそできる本人の目線を大切に、成人に向けた自立課題を提供しています。今後は卒業後を見すえた法人内の通所事業所見学や体験を通じて、進路を考える一助を担いたいです。日々の活動の中で個々の成長を感じます。学校と補完し合いながら苦手なところを克服し、いいところを見つけて伸ばすことを大切にしていきます。

Q. プリズムに期待することは？

プリズムご利用者・ご家族

A. 卒業後の進路先が知りたいです。本人ができる事を増やしていきたいです。

▼ 課題が取り組みやすい環境を整備してできることを増やします

▶ 1日の予定を視覚的に示すスケジュールボード



▶ ひとりひとりに合わせた自立課題



▶ 本人に分かりやすく提示します



▶ 建物の2階がプリズム



一緒に街づくりしてみませんか？ 会員募集！ 後援会いずみ

後援会いずみは、藤沢育成会が進める福祉事業を支援しています。藤沢育成会を利用する人と地域の人を結ぶ懸け橋になり、障がいがある人の地域の暮らしや社会参加の実現に向けて、誰もが自分らしく生き生きと暮らすことのできる豊かなまちづくりを目指しています。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

入会のご案内

個人会員：年額 2,000円以上
団体会員：年額 10,000円以上
会費納入：振込先 郵便局
口座番号：00240-5-65378
口座名義：社会福祉法人 藤沢育成会 後援会いずみ
お問合せ：0466-28-1488
(藤沢育成会事務局内 後援会担当)

ロッカー型自動販売機を寄附しました。



“社会参加や地域での暮らしを支える”そんな願いを込め、『後援会いずみ』より、ロッカー型自動販売機を湘南ジョイフルに寄附しました。

事業所と地域を結ぶ自動販売機。皆様もお近くにお越しの際は、ぜひご利用ください。

藤沢育成会の事業の最新情報から求人募集まで!!

藤沢育成会のホームページへアクセスお待ちしています!

QRコードからアクセスまたは【藤沢育成会】で検索
URL: <http://www.f-ikusei.or.jp/>
スマートフォンからもアクセスできます

